

2020年3月期 決算説明資料

2020年6月18日

文化シヤッター株式会社

目 次

P1 新型コロナウイルス感染症への対応と
通期予測の見送りについて

P2 2020年3月期の実績について

P3 事業環境

P4 業績

P5 売上高および営業利益の増減要因

P6 セグメント別売上高および営業利益

P7 売上高の用途別セグメント別分析

P8 重点施策の進捗状況について

P9 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化

P10 基幹事業の拡大② ドア・パーティション事業の強化

P11 注力事業の強化① エコ&防災事業の強化

P12 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化

P13 注力事業の強化③ ロングライフ事業の強化

P14 注力事業の強化④ 海外事業の強化

P15 トピックス

P16 トピックス 新商品

P17 参考資料

P18 文化シャッターグループ概要

P19 文化シャッターグループのセグメント別会社構成と
海外事業展開

P20 連結貸借対照表

P21 連結キャッシュフロー計算書

P22 シャッター関連製品の状況（単体）
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）

P23 建材関連製品の状況（単体）
（ドア、パーティション、エクステリア）

P24 持続可能な社会の実現をめざして
～SDGsの理念と連動した事業を推進中～

新型コロナウイルス感染症への対応と通期予測の見送りについて

罹患された皆様へのお見舞いと医療従事者の皆様へ

このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ならびにご家族の皆様にご挨拶申し上げますとともに、罹患された皆様のご回復を願ひ、心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止に昼夜を問わずご尽力いただいております医療従事者の皆様に、心より感謝申し上げます。

事業環境

- ・ 国内では、計画案件の中断や延期などが検討され、先行きは不透明な状況
- ・ 海外では、渡航規制やビザの発給停止などにより、新規現場で遅延が生じており、先行きは不透明な状況

2021年3月期 通期予想について

さる5月28日に発表した2020年3月期の決算短信に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2021年3月期の予想について合理的に算定することが困難な状況から、当説明資料においても2021年3月期の予想数字を盛り込んでおりません。

対応状況

<顧客対応>

- ・ 再開した着工現場では、マスクの着用など感染拡大措置を徹底
- ・ 対面での営業活動を避け、メールや電話等を活用

<社内対応>

- ・ 在宅勤務、時差出勤を継続推進中

支援状況

- ・ 当社が販売する“ウォークスルー”方式でPCR検査が行える「ウォークスルータイプPCR検査用ブース」を本社のある東京・文京区と東京都に提供



2020年3月期の実績について

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
民間企業設備投資 (百億円)	8,426	104.3%	8,574	101.7%	8,495	99.1%
新設住宅着工戸数 (万戸)	94.6	97.2%	95.2	100.7%	88.3	92.7%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,331	103.9%	5,101	95.7%	4,797	94.0%
工場 (万㎡)	919	110.9%	1,009	109.8%	773	76.6%
倉庫 (万㎡)	989	114.2%	876	88.6%	1,002	114.4%
医療・福祉 (万㎡)	625	84.9%	517	82.8%	555	107.3%
店舗 (万㎡)	553	98.5%	521	94.3%	415	79.6%
事務所 (万㎡)	668	99.9%	608	91.1%	652	107.2%

2020年3月期の民間企業設備投資は速報値

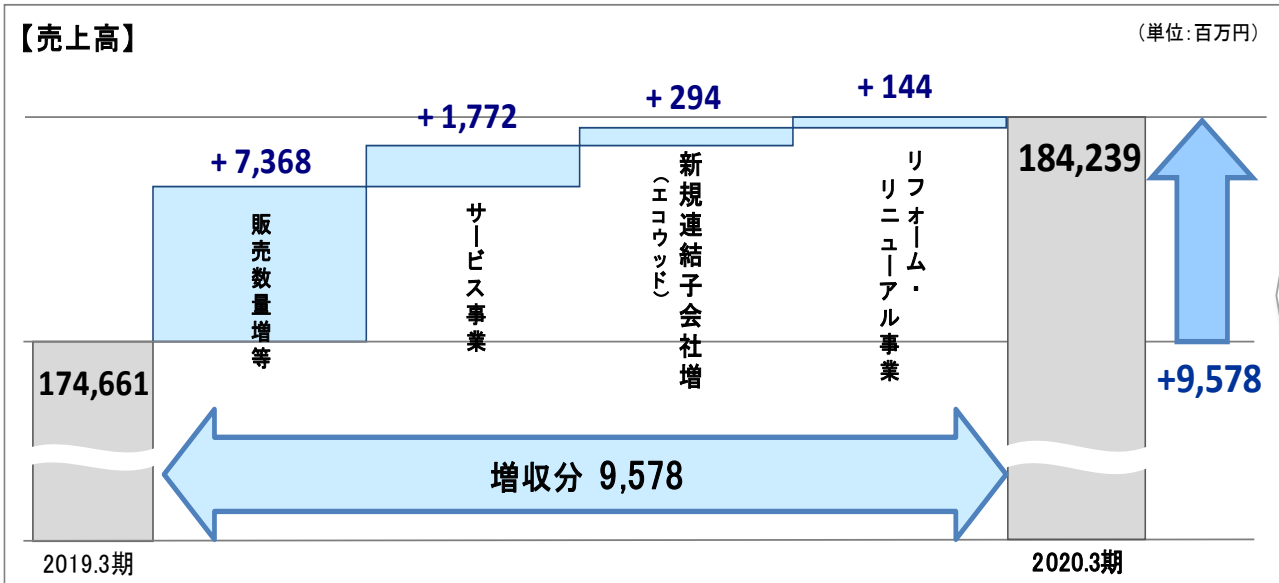
- ◆ 世界経済は米中貿易摩擦や欧州の政治情勢不安などによる海外経済の減速により景況感は悪化した。国内経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いた一方で、第4四半期以降は、新型コロナウイルス感染拡大により、世界および国内経済への影響は深刻さを増し、景気は急速に悪化した。
- ◆ 民間企業設備投資(実質)は、速報値では前期比0.9%減の84兆円に減速する模様。新設住宅着工戸数は、前期比7.3%減の88万3,000戸、非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は、倉庫、医療・福祉、事務所が増加したものの、工場、店舗が減少したことで、前期比6.0%減の4,797万㎡と、前年を下回った。

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期				
	実績	売上比	11月予想	実績	売上比	伸率	予想比
売上高	174,661	100.0%	190,000	184,239	100.0%	105.5%	97.0%
売上原価	128,574	73.6%	140,200	136,938	74.3%	106.5%	97.7%
売上総利益	46,087	26.4%	49,800	47,301	25.7%	102.6%	95.0%
販売費及び一般管理費	36,285	20.8%	38,800	37,815	20.5%	104.2%	97.5%
営業利益	9,801	5.6%	11,000	9,485	5.2%	96.8%	86.2%
経常利益	10,801	6.2%	11,500	10,003	5.4%	92.6%	87.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,294	4.2%	7,600	6,603	3.6%	90.5%	86.9%
1株当たり配当金	25円		25円	25円	-	-	
設備投資額	3,255		4,000	3,968	121.9%	99.2%	
減価償却費	3,967		4,500	4,551	114.7%	101.1%	
期末 従業員 (人)	正社員	4,639	4,780	4,782	143	2	
	臨時雇用者	1,163	1,220	1,218	55	△2	
	合計	5,802	6,000	6,000	198	0	

- ◆ 「売上高」は、全セグメントで増収となり、10期連続の増収で、過去最高売上。
- ◆ 「営業利益」は、取付経費等の増加をはじめとした売上原価率の上昇等により、減益。
- ◆ 「設備投資額」約40億円の主な内訳は、
 - ・設備の合理化・更新他で約31億円
 - ・次期情報システムの開発費で約7億円
 - ・子会社の土地取得費で約1億円
- ◆ 「1株当たり配当金」は25円。

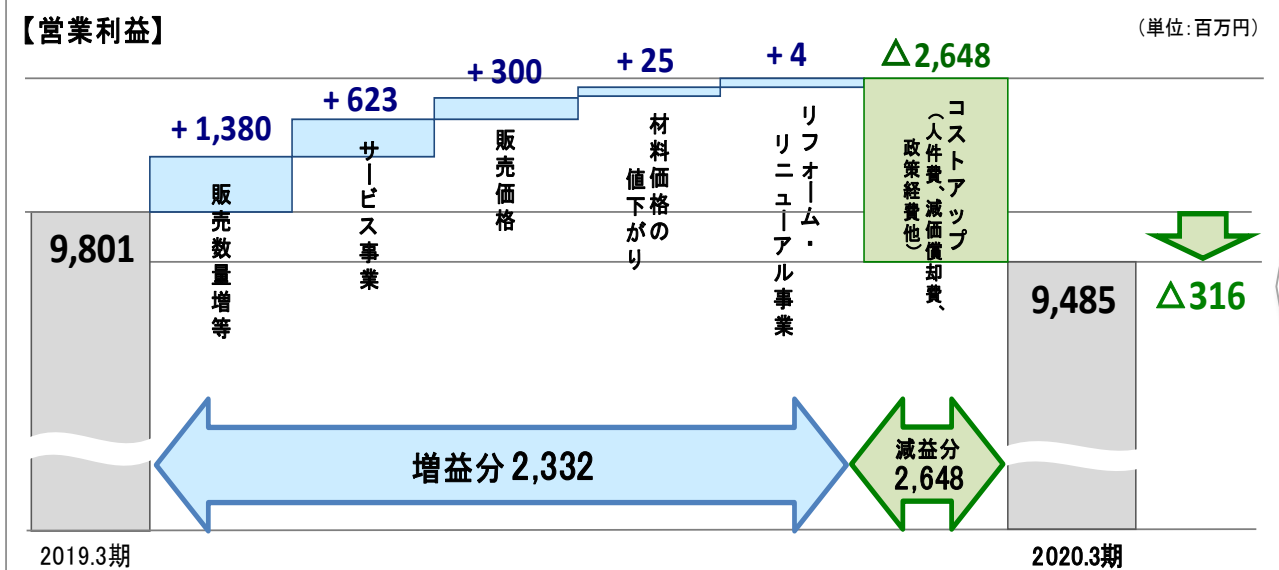
売上高および営業利益の増減要因



◆「売上高」の増減要因

主な増収要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。

トータルで95億7,800万円の「増収」。



◆「営業利益」の増減要因

主な増益要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。

主な減益要因は、人件費と取付経費および減価償却費の増加など「コストアップ」が影響。

トータルで3億1,600万円の「減益」。

セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	64,608 (63,000)	7,872 (6,850)	66,983 (68,800)	7,165 (8,000)
伸率	124.4%	140.5%	103.7%	91.0%
増減	12,685	2,267	2,375	△ 707
建材関連製品事業	75,551 (76,600)	1,155 (1,750)	79,401 (80,250)	804 (1,200)
伸率	105.1%	66.9%	105.1%	69.6%
増減	3,658	△ 571	3,850	△ 350
サービス事業	23,477 (23,000)	3,843 (3,200)	25,249 (28,000)	4,466 (5,300)
伸率	119.1%	168.2%	107.5%	116.2%
増減	3,766	1,558	1,772	623
リフォーム事業	6,955 (7,000)	86 (0)	7,099 (7,450)	90 (150)
伸率	86.2%	41.7%	102.1%	104.8%
増減	△ 1,117	△ 121	144	4
その他事業	4,069 (4,400)	231 (200)	5,505 (5,500)	718 (550)
伸率	103.9%	120.8%	135.3%	311.0%
増減	152	39	1,436	487
配賦不能額	-	3,386 (3,300)	-	3,759 (4,200)
合計	174,661 (174,000)	9,801 (8,700)	184,239 (190,000)	9,485 (11,000)
伸率	112.3%	144.1%	105.5%	96.8%
増減	19,146	3,000	9,578	△ 315

()は直近予想数字

- ◆「シャッター関連製品事業」は、オフィスビルおよび大型物流倉庫向けの重量シャッターが好調に推移したものの、軽量シャッターが低調に推移したことにより、「増収減益」。
- ◆「建材関連製品事業」は、公共施設向けのドア群が好調に推移したものの、パーティション群が低調に推移したことにより、「増収減益」。
- ◆「サービス事業」は、災害対応をはじめとするシャッターの修理売上と、法定点検を含めた保守点検契約が好調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆「リフォーム事業」は、住宅およびビルリニューアル事業が共に堅調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆「その他事業」は、止水商品の売上が好調に推移したことにより、「増収増益」。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

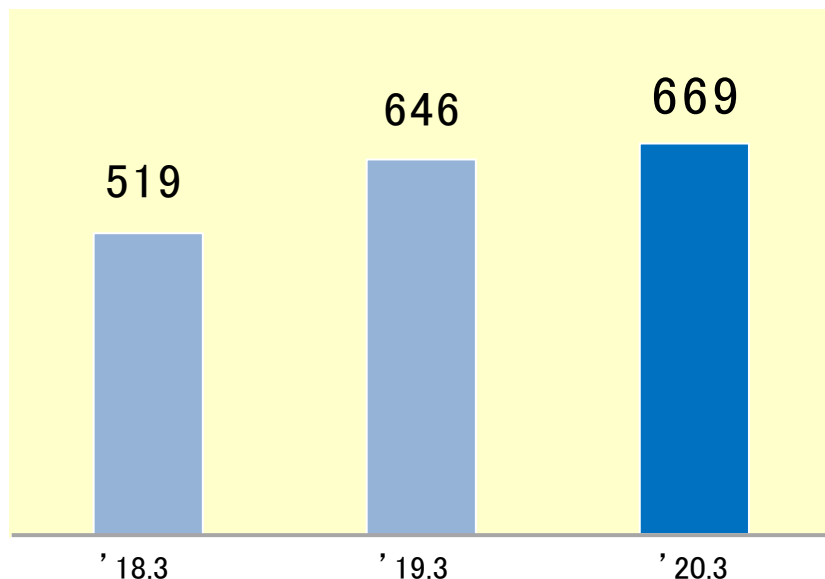
製品・事業群	用途	合計	工場・倉庫	医療福祉・学校	オフィスビル・公共施設	商業施設	住宅その他
増収額		95.7	13.6	△ 12.0	74.2	14.6	5.3
売上高		1,842.3	413.0	171.8	289.9	121.9	845.7
シャッター関連製品事業計	増収額	23.7	2.4	0.0	26.5	5.3	△ 10.5
	売上高	669.8	250.7	21.3	74.7	49.1	274.0
軽量シャッター群	増収額	△ 8.0	△ 1.9	0.1	2.5	0.6	△ 9.3
	売上高	170.3	70.4	2.9	14.2	13.2	69.6
重量シャッター群(※)	増収額	18.5	0.6	△ 0.3	15.1	2.9	0.2
	売上高	372.3	151.6	10.2	42.9	25.9	141.7
窓シャッター群	増収額	△ 0.3	-	-	-	-	△ 0.3
	売上高	49.4	-	-	-	-	49.4
シャッター関連群	増収額	13.5	3.7	0.2	8.9	1.8	△ 1.1
	売上高	77.8	28.7	8.2	17.6	10.0	13.3
建材関連製品事業計	増収額	38.5	6.8	△ 14.7	32.8	6.6	7.0
	売上高	794.0	85.4	122.8	137.4	38.0	410.4
エクステリア群	増収額	△ 4.8	-	-	-	-	△ 4.8
	売上高	86.3	-	-	-	-	86.3
ドア・パーティション群	増収額	42.7	6.8	△ 14.7	32.8	6.6	11.2
	売上高	525.0	85.4	122.8	137.4	38.0	141.4
その他建材製品群	増収額	0.6	-	-	-	-	0.6
	売上高	182.7	-	-	-	-	182.7
サービス事業計	増収額	17.7	1.6	3.3	6.4	0.7	5.7
	売上高	252.5	66.6	24.7	62.8	28.7	69.7
リフォーム事業計	増収額	1.4	-	-	-	-	1.4
	売上高	71.0	-	-	-	-	71.0
その他事業計	増収額	14.4	2.8	△ 0.6	8.5	2.0	1.7
	売上高	55.0	10.3	3.0	15.0	6.1	20.6

- ◆ 増収額95億7,000万円を用途別で見ると、「オフィスビル・公共施設」「商業施設」「工場・倉庫」が牽引。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、重量シャッター群を中心とするシャッター関連製品事業と、ドア群を中心とする建材関連製品事業が牽引し、74億2,000万円の「増収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、重量シャッター群を中心とするシャッター関連製品事業と、ドア群を中心とする建材関連製品事業が牽引し、14億6,000万円の「増収」。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、工場向けはドア群を中心とする建材関連製品事業、倉庫向けは重量シャッター群を中心とするシャッター関連製品事業が牽引し、13億6,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、建材関連製品事業が苦戦した影響で、12億円の「減収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、宿泊施設向けのドア群を中心とする建材関連製品事業が好調に推移し、5億3,000万円の「増収」。

※シャッター関連製品事業の「重量シャッター群」は、重量シャッターの他、オーバースライディングドア、高速シートシャッターの売上を含む

重点施策の進捗状況について

「シャッター事業」売上高(億円)

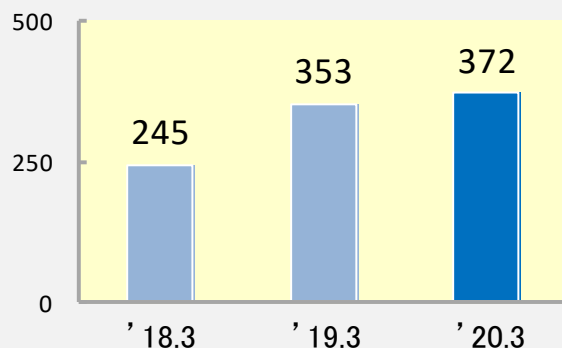


◆シャッター事業(※1)

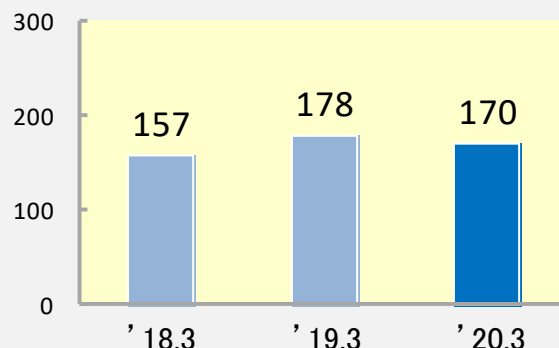
- ・2020年3月期は、前期の災害対応の反動減により軽量シャッター群は減少したものの、オフィスビルや東京オリンピック・パラリンピック関連施設などの公共施設、大型物流倉庫向けの重量シャッターが好調に推移した結果、売上高は前期比23億円増の669億円。
- ・市場動向については、大型物流倉庫や再開発物件が控えているものの、新型コロナウイルスの影響により進捗が遅れると予想。

※1 シャッター事業は、セグメント区分の「シャッター関連製品事業」と同じ内容です。

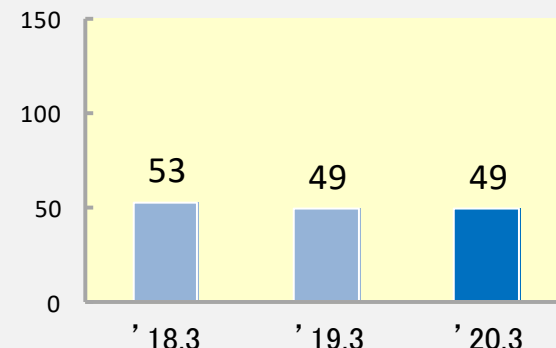
「重量シャッター群(※2)」売上高



「軽量シャッター群」売上高

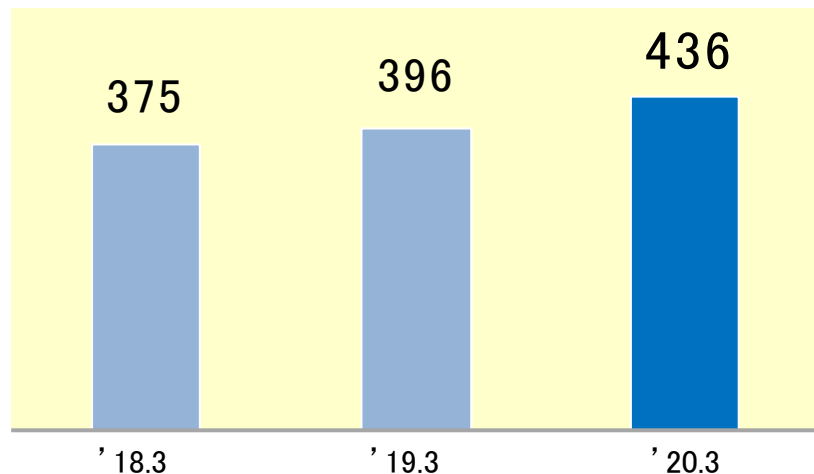


「窓シャッター群」売上高

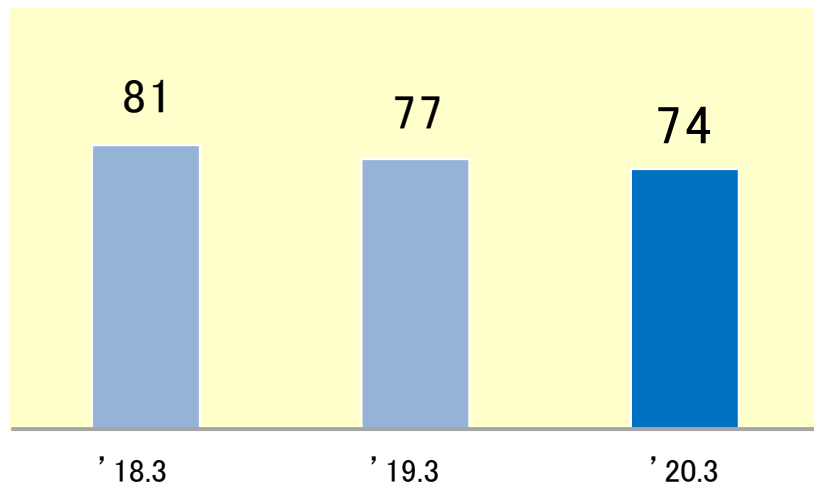


※2 重量シャッター群はオーバースライディングドアと高速シートシャッター他を含む

「ドア事業」売上高(億円)



「パーティション事業」売上高(億円)



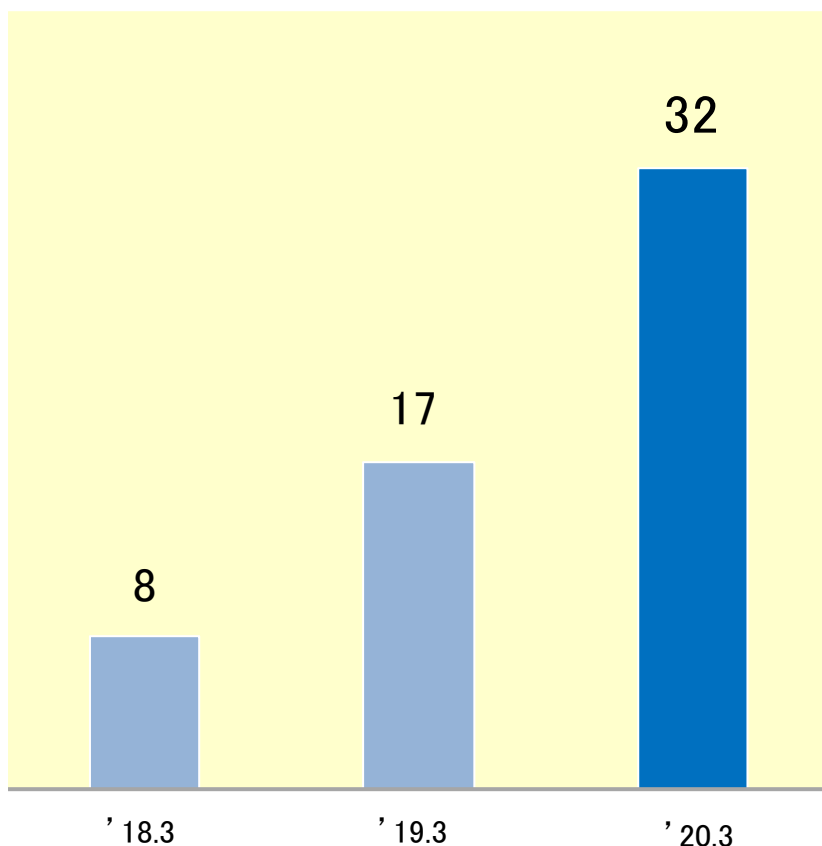
◆ドア・パーティション事業

- ・ 2020年3月期、ドア事業は、主に宿泊や公共施設、大型商業施設向けが好調に推移した結果、売上高は前期比40億円増の436億円。

パーティション事業は、主に「学校」向けの減少が影響し、売上高は前期比3億円減の74億円。

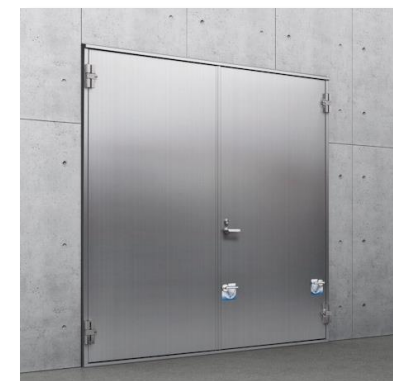
- ・ 市場は新型コロナウイルスの影響で不確実性が高い状況にあるが、ドア枠の無溶接工法「スマートアンカー」や“地震動対策”機能を追加した「学校間仕切」などの安心・安全を追求した高付加価値製品、技術の提案を推し進め、事業の利益率改善を図っていく。

「エコ&防災事業」売上高(億円)



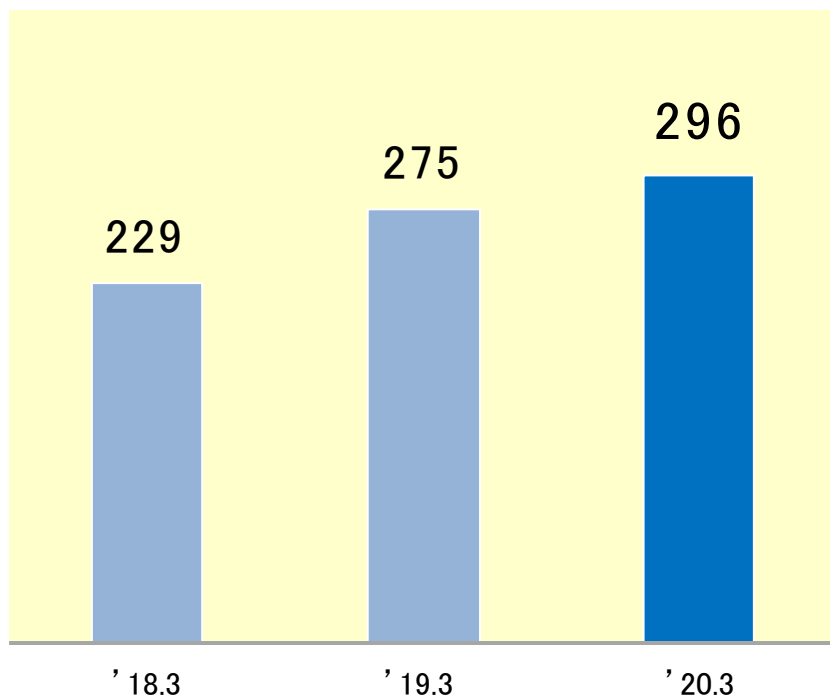
◆エコ&防災事業

- ・2020年3月期は、好調に推移した止水事業(防災事業)と、(株)エコウッドとの連携による再生複合材「テクモク」(エコ事業)の拡販により、売上高は前期比15億円増の32億円。
- ・気候変動への対応と、増加傾向にある集中豪雨と多発する大型台風に伴う浸水対策の提案を、継続して推し進める。
- ・環境負荷の低減を図るエコ製品として、エアコンの稼働率を大幅に下げることによってCO2削減に効果的な日除け「オーニング」を新たに加え、持続可能な社会への貢献を推し進める。



浮力起伏式止水板(左)と止水ドア「アクアード」(右)
止水製品CMを2020年5月より放映中。
国際空港に上記を含めた複数の止水製品が採用。

「メンテナンス事業」売上高(億円)



◆メンテナンス事業(※)

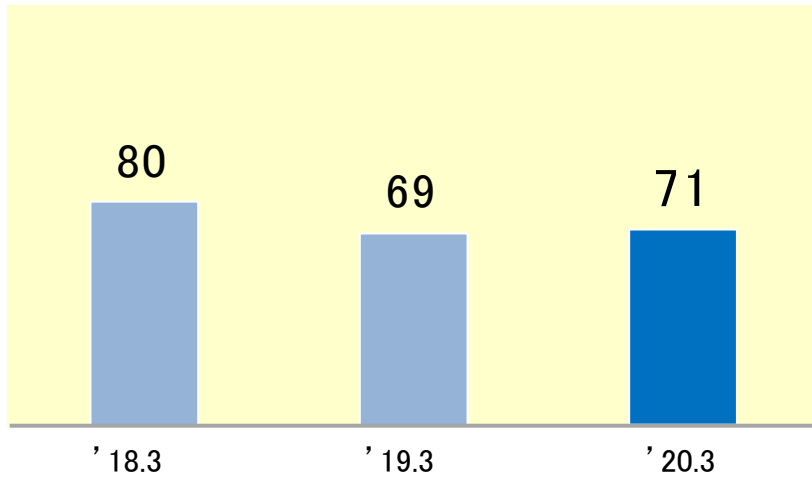
- ・2020年3月期は、台風による災害対応をはじめとする修理と、好調に推移した防火設備の法定点検が寄与し、売上高は前期比21億円増の296億円。
- ・24時間365日対応のアフターメンテナンス体制のさらなる充実と、安心して継続使用するための法定点検の対応強化を推し進める。

※メンテナンス事業は、修理・保守点検に伴う製品一式の取り替え分を反映させていることなどにより、セグメント区分の「サービス事業」とは差異が生じます。



防火シャッターの法定点検イメージ

「ロングライフ事業」売上高(億円)



2019年8月に開設した「屋根リフォーム」「外壁塗装」「板金」をテーマとしたBXゆとりリフォームのサイト

◆ロングライフ事業(※)

- ・2020年3月期は住宅リフォーム事業については、リフォーム相談会の開催と、注力テーマである「屋根リフォーム」「外壁塗装」「板金」のWEBによる事例紹介やCM展開により、顧客リピート率が70.4%と前期比5.8%アップ。

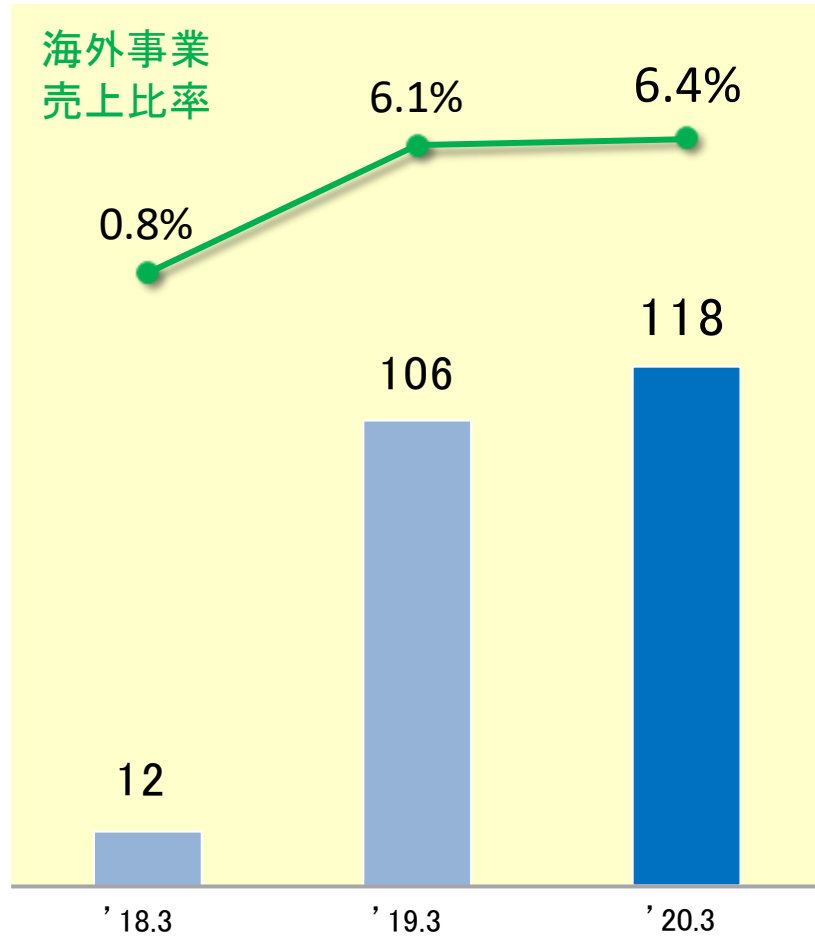
ビルリニューアル事業は、台風による災害対応を含めて受注が拡大。

ロングライフ事業の売上高は、前期比2億円増の71億円。

- ・新型コロナウイルスの影響により、新規契約の減少、工事の遅延など先行きは厳しい状況にある。住宅リフォーム事業については、生産性向上やWEBコンテンツ強化に努め、コロナ収束後を見据えた営業力・集客力の強化をはかる。ビルリニューアル事業は、「耐震」「浸水対策」をキーワードに元請け対応を強化を推進する。

※ロングライフ事業は、セグメント区分の「リフォーム事業」と同じ内容です。

「海外事業」売上高(億円)



◆海外事業

- ・ 2020年3月期は、オーストラリアにおいて2019年6月にBX BUNKA AUSTRALIAが産業・商業施設向けシャッターメーカー「ARCO(QLD)」の全株式を取得したことを含め、売上高は前期比12億円増の118億円。海外事業の売上高比率は6.4%と0.3%アップ。
- ・ ベトナム、オーストラリアにおいても新型コロナウイルスの影響により経済活動が停滞している状況にある。足下の物件を確実に推し進めると共に、今後の市場動向に注視していく。



2019年6月にBX BUNKA AUSTRALIAが全株式を取得したARCO(QLD)の工場外観



住宅向けガレージドアの採用事例 (オーストラリア)

トピックス

◆新商品

“ウォークスルー”方式で新型コロナウイルス感染症のPCR検査が行える
「ウォークスルータイプPCR検査用ブース」を発売



検査側



出入口側

5月18日より
全国発売開始

<特徴>

- ・検査員がブースに入ること、被検査者に直接接触することなく検査が可能なウォークスルータイプのPCR検査用ブース

- ・PCR検査を医療現場から切り離すことで医療従事者を守り、医療崩壊を防ぐ社会に貢献できる商品

參考資料

- 社是 「誠実 努力 奉仕」
- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び連結子会社25社(2020年4月現在)
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 342営業拠点 132サービス拠点 33工場(2020年4月現在)
- 従業員数 4,782名(2020年3月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター（株）

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機（株）
BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.

「オーニング」製造・販売

BXテンパール（株）

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター（株）

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売（株）
文化シャッター高岡販売（株）
(※2)

※1 関連会社で持分法適用会社
※2 関連会社で持分法非適用会社

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル（株）

「ドア」製造

BXケンセイ（株）
BX鐵矢（株）
BX東北鐵矢（株）
BX朝日建材（株）
BXルーテス（株）

「建築金物」製造・販売

BXカネシン（株）

「ドア」「スライディングウォール」
「注文家具」製造・販売

BXティアール（株）

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲（株）

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網（株）

「環境建材(再生複合材)」製造・販売

(株)エコウッド

サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

文化シャッターサービス（株）

リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

BXゆとりリフォーム（株）

その他事業

「損害保険代理業」

BXあいわ（株）

「建築構造設計」

BX TOSHO（株）

海外事業展開

< ASEAN・ベトナム >

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「電動開閉機」製造・販売

BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

EUROWINDOW., JSC (※1)

< オセアニア・オーストラリア >

「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・
施工・アフターメンテナンス

BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD

Steel-Line Garage Doors Australia

Steel-Line Installations Australia

Steel-Line Garage Doors (WA)

Dynamic Door Service

ARCO(QLD) PTY LTD

その他

「ビル用サッシ他」製造・販売

不二サッシ（株）グループ (※1)

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2019年3月期		2020年3月期		増	減
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	93,300	57.6	96,144	58.0	2,844	103.0
現金・預金	24,308	15.0	25,727	15.5	1,419	105.8
受取手形・売掛金	46,356	28.6	46,640	28.1	284	100.6
たな卸資産	18,896	11.7	19,685	11.9	789	104.2
その他	3,737	2.3	4,091	2.5	354	109.5
固定資産	68,784	42.4	69,729	42.0	945	101.4
土地	12,321	7.6	12,475	7.5	154	101.2
投資有価証券	18,301	11.3	16,998	10.2	△ 1,303	92.9
その他の投資・資産	2,575	1.6	2,526	1.5	△ 49	98.1
その他	35,587	21.9	37,730	22.8	2,143	106.0
資産合計	162,085	100.0	165,874	100.0	3,789	102.3
流動負債	54,959	33.9	54,811	33.0	△ 148	99.7
支払手形・買掛金	33,363	20.6	33,703	20.3	340	101.0
短期借入金	3,556	2.2	2,284	1.4	△ 1,272	64.2
その他	18,040	11.1	18,824	11.3	784	104.3
固定負債	32,946	20.3	33,905	20.5	959	102.9
転換社債型新株予約権付社債	10,000	6.2	10,000	6.0	0	100.0
長期借入金	1,268	0.8	266	0.2	△ 1,002	21.0
退職給付に係る負債	18,881	11.6	19,023	11.5	142	100.8
その他	2,797	1.7	4,616	2.8	1,819	165.0
負債合計	87,905	54.2	88,717	53.5	812	100.9
純資産合計	74,179	45.8	77,157	46.5	2,978	104.0
負債・純資産合計	162,085	100.0	165,874	100.0	3,789	102.3

1株当たり純資産

1,032円44銭

1,073円97銭

期末株価

802円

785円

PBR(株価純資産倍率)

0.78

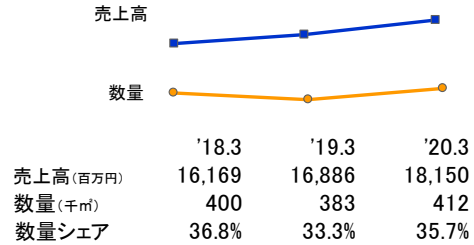
0.73

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	11,473	10,263	△ 1,210
税金等調整前当期純利益	10,882	10,108	△ 774
減価償却費	3,072	3,616	544
売上債権の増減額(△は増加)	△ 256	△ 145	111
仕入債務の増減額(△は減少)	830	114	△ 716
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,030	△ 645	1,385
法人税等の支払額	△ 2,026	△ 4,602	△ 2,576
その他	1,001	1,817	816
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,450	△ 3,429	1,021
投資有価証券の取得による支出	△ 435	△ 386	49
有形固定資産の売却による収入	43	13	△ 30
有形固定資産の取得による支出	△ 2,508	△ 2,055	453
無形固定資産の取得による支出	△ 606	△ 1,041	△ 435
その他	△ 944	40	984
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,756	△ 5,090	△ 2,334
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 8,500	-	8,500
長期借入金の返済による支出	△ 2,270	△ 2,273	△ 3
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	9,967	-	△ 9,967
配当金の支払額	△ 1,431	△ 1,974	△ 543
その他	△ 522	△ 843	△ 321
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,242	1,711	△ 2,531
5. 現金及び現金同等物の期首残高	18,377	22,620	4,243
6. 現金及び現金同等物の期末残高	22,620	24,393	1,773

<重量シャッター>

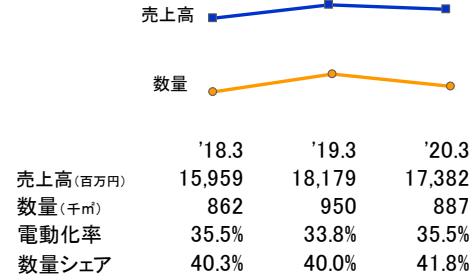


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 20.3期の売上高は、前期比7.5%増
- ◆ 数量シェアは、前期比2.4ポイントアップの35.7%

<軽量シャッター>

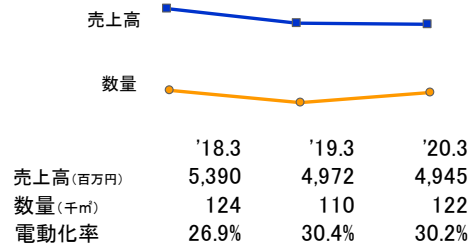


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 20.3期の売上高は、前期比4.4%減
- ◆ 数量シェアは、前期比1.8ポイントアップの41.8%

<窓シャッター>



- ◆ 20.3期の売上高は、前期比0.5%減
- ◆ 新設住宅着工戸数の減少に伴い、微減で推移

<ドア>



	'18.3	'19.3	'20.3
売上高(百万円)	35,376	35,085	39,076

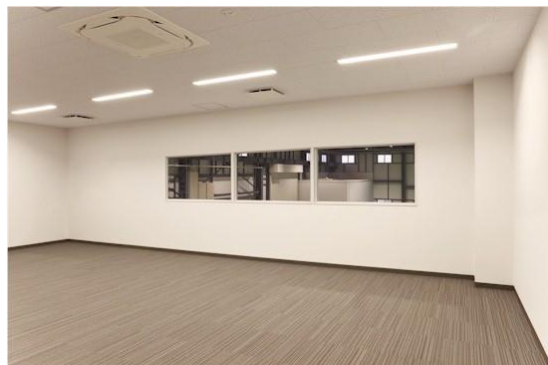


- ◆ 20.3期の売上高は、前期比11.4%増
- ◆ 公共・宿泊施設向けが好調に推移

<パーティション>



	'18.3	'19.3	'20.3
売上高(百万円)	8,159	7,718	7,445



- ◆ 20.3期の売上高は、前期比3.5%減
- ◆ 学校向けが低調に推移

<エクステリア>



	'18.3	'19.3	'20.3
売上高(百万円)	8,058	8,536	7,764

※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 20.3期の売上高は、前期比9.0%減
- ◆ 新設住宅着工戸数の減少に伴い、低調に推移

文化シャッターグループは、SDGsの理念と連動し、「エコ&防災」をキーワードとした事業を中心に、“持続可能な社会の実現”をめざす取り組みを継続して推し進めます！

SDGsの目標に合致するBXグループが進める事業の代表例

<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に当てはまる「テクモク」、BXテンパルのオーニング「エルバーネ」</p>	<h2>エコ事業</h2>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>「住み続けられるまちづくりを」に当てはまる「軽量シャッター」「窓シャッター」</p>	<h2>防災事業</h2>
<p>12 つくる責任つかう責任</p> <p>「つくる責任つかう責任」に当てはまる文化シャッターサービスの修理・保守点検</p>	<h2>サービス事業</h2>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>「気候変動に具体的な対策を」に当てはまる止水商品の「止めピタ」「ラクセット」</p>	<h2>止水事業 (防災)</h2>

成長と共に

止水事業の推進に向けた取り組みの一例。写真は4種類の止水商品を出展した「2019防災産業展in東京」(2019年6月5日～7日・東京ビッグサイト)

社会と共に

被災地の産業支援と支援の環を広げる取り組みの一例。写真は「BXマルシェ東北うまいものフェア」(2019年10月11日・BXホール)

地球と共に

木材・プラスチック再生複合材「テクモク」とオーニングが採用された神奈川県中井パーキングエリアの商業施設

働く仲間と共に

人材育成を大切にする企業風土が受け継がれる中、様々な研修制度を実施。写真は海外派遣制度報告会(2019年2月14日・BXビル)

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<https://www.bunka-s.co.jp/>